

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画

取組総括シート

亀 岡 市

実施計画 取組項目一覧

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 ①市民目線に立った窓口サービスの構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
1	窓口サービスの充実・事務改善	企画調整課・市民課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
2	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実	広報プロモーション課	情報発信を行う各課	実施	実施	実施	実施	実施
3	市民協働の推進	市民力推進課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
4	公民連携によるまちづくり	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 ①分野横断的な組織体制の構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
5	庁内連携システムの確立	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
6	人材の育成、職員研修の充実	人事課・市立病院経営企画室	—	実施	実施	実施	実施	実施
7	人事評価制度の運用	人事課	—	実施	実施	実施	実施	実施
8	業務効率を高めるためのICTの活用	企画調整課・情報政策課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
9	電子決裁の推進	総務課	企画調整課、財政課、会計課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 ①経常的経費の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
10	経常的経費を含む事務事業の検証	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
11	元金償還額を上回らない市債の発行	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
12	公共施設マネジメントの推進	財産管理課	各施設所管課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②受益と負担の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
13	受益者負担の適正化	企画調整課・教育総務課	使用料・手数料の所管課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-①市民目線に立った窓口サービスの構築

実施計画シート

No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善					
所管課		企画調整課・市民課	関係課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課				
取組内容		・窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率的な案内方法等について、充実、事務改善を図る。 ・死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約制による職員派遣型ワンストップ（※）窓口として、おくやみ窓口を設置する。 ※ワンストップ…1カ所の窓口カウンターで手続きをすること。						
期待される効果		窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間を減少させる。 複雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る。高齢の遺族も安心して手続きが出来る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画		①窓口業務のあり方の検討						
		対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査）	準備	実施	実施			
		他市の状況調査	準備	実施				
		窓口業務のあり方の検討・改善		準備	実施	実施	実施	
		②おくやみ窓口の設置						
		各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務フロー決定	実施					
		設置場所・設備関係の調査 設備の設置	実施					
目標指標		おくやみ窓口の運用		実施				
		数値目標	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	1	20	20
			おくやみ窓口の設置	90%	100%	—	—	—
		実績値	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	14	22	15
おくやみ窓口の設置	100%		—	—	—	—		

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	<p>【①窓口業務のあり方の検討】</p> <p>・デジタルファースト宣言に基づく行政手続きのデジタル化・オンライン化の推進により、オンライン手続きを36、窓口サービスのデジタル化を6、インターネット予約受付を6、その他の事務改善を3、合計51件の事務改善を行い、市民サービスを向上させた。</p> <p>【②おくやみ窓口の設置】</p> <p>・おくやみ窓口設置に向け、関係課職員によるワーキンググループを開催し、実施方法の検討を行った結果、当初の予定よりも早く開設することができた。</p> <p>・利用者数（R3 226件、R4 307件、R5 333件、R6 386件）</p>					
実施結果の自己評価 (R2～R6)	<p>【①窓口業務のあり方の検討】</p> <p>・令和3年度の亀岡市デジタルファースト宣言以降、行政手続きのデジタル化・オンライン化を進め、優先度の高い手続きについては概ね完了させることができた。</p> <p>・デジタル化が未完了の業務についても引き続きデジタル化を進め、「行かない、書かない、待たない」窓口の実現を目指す。</p>				達成度	3
	<p>【②おくやみ窓口の設置】</p> <p>・おくやみ窓口を令和3年2月に開設、令和3年6月から本格実施を行っている。開設後もインターネット予約導入や配布資料充実などに取り組み、利用者から好評を得ている。</p>				達成度	5
委員会の評価 (R2～R6)	<p>【①窓口業務のあり方の検討】</p> <p>・</p>				達成度	
	<p>【②おくやみ窓口の設置】</p> <p>・</p>				達成度	

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実					
所管課		広報プロモーション課	関係課	情報発信を行う各課				
取組内容		市政情報の市ホームページ、SNS等による積極的な発信						
期待される効果		積極的な発信によって市政情報を共有し、市民の市政への参画の促進を図る。						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		情報発信に対するレスポンス数の調査	実施	実施	実施	実施	実施	
		調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の年度総計	310,000	315,000	640,000	640,000	640,000	
	実績値		753,486	756,034	528,453	406,959	431,180	

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・ 市政情報の発信に対するレスポンス数を調査した結果、コロナ禍に比べて、ホームページへのアクセス数は減少しているが、LINEをはじめとする各種SNSの登録者は増加した。 ・ 令和3年度にホームページのリニューアルを実施したほか、各種デジタル広告の出稿及びLINEのセグメント配信（※）の開始により、ホームページ全体の総ユーザー数は年間で約124万人（R6年度）となった。 ※セグメント配信…顧客の属性（年齢、性別、居住地など）に基づいて分類（セグメント化）し、各グループのニーズに合わせた内容のメールやメッセージを送るマーケティング手法。		
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・ 実績値が目標値を下回る結果となったが、コロナ禍前に掲げた目標値については達成しており、目標値の背景にある目的は概ね達成できたと考える。 ・ 今後については、閲覧者が求める内容が網羅的かつ体系的に整理された市ホームページの構築を目指すとともに、SNSの統一的な運用及び他主体との積極的な連携を通じて広くフォロワーの獲得を目指す。 ・ PRTIMES等オウンドメディア以外の媒体も有効活用することで、市民はもちろん、市外に対しても積極的な情報発信を行う。	達成度	3
委員会の評価 (R2～R6)	・	達成度	

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	3	取組項目	市民協働の推進				
所管課		市民力推進課	関係課	全課			
取組内容		職員や市民、事業者等に対して地域の課題解決の必要性やそのための市民活動と協働について理解を広める手法を検討し、実施する。					
期待される効果		市民活動に参画する機運が高まり、関わる人が増える。					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		市民活動と協働について理解を深める手法の検討・知る機会の創出	実施	実施	実施	実施	実施
		地域課題の共有と課題解決に向けた協働の促進	準備	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・まちづくり協働推進委員会を例年3回開催し、市の支援制度や中間支援組織の機能強化について協議を行った。 ・コロナ禍であった令和2年度を除き、まちづくりワークショップを例年1、2回開催し、市民活動への理解を広めたほか、活動団体同士の交流を促進することができた。		
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・コロナ禍でイベントが開催できなかった期間を除き、市民活動と協働による課題解決の必要性について、理解を深める機会を作り出すことができた。 ・引き続き、地域の課題解決を共有し課題解決のための市民活動と協働について理解を広め、参画する人がさらに増加するように取り組む。	達成度	3
委員会の評価 (R2～R6)	・	達成度	

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり					
所管課		企画調整課	関係課	全課				
取組内容		民間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。						
期待される効果		民間活力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		民間企業等との連携、協定締結の推進	実施	実施	実施	実施	実施	
		包括協定（※）に基づく施策の推進	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—	—

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・ 5年間で包括協定を10件、個別連携協定を77件、合計87件の新たな連携協定を締結した。 ・ 令和6年度末時点での連携協定は合計215件（包括協定16件、個別協定199件）となった。		
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・ 毎年、複数件の包括協定及び個別協定を締結し、社会経済情勢に合わせた事業や、市の重点施策等を連携して実施した。 ・ 協定締結後、連携実績がない協定もあることから、協定基準の設定等、市民サービス向上に寄与する仕組みづくりが必要である。	達成度	4
委員会の評価 (R2～R6)	・	達成度	

※包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

実施計画シート

No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立					
所管課		企画調整課	関係課	全課				
取組内容		様々な行政課題に対応するため、プロジェクトチームやワーキンググループ等を活用し、課を越えた横の連携を強化する。 組織の活性化と行政運営の効率化を図るため、プロジェクトチーム等の設置のあり方を見直す。						
期待される効果		横の連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用	実施	実施	実施	実施	実施	
		プロジェクトチーム、ワーキンググループの現状及び課題の把握	実施	実施	実施			
		プロジェクトチーム、ワーキンググループ設置のあり方の見直し		準備	実施	実施	実施	
		多様な連携方法の検討・試行				実施	実施	
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—	—

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・5年間で27件のプロジェクトチーム等を設置し、22件の取組で目的を達成し解散した。 ・庁内連携を推進し、多様化する行政課題に迅速に対応する組織体制を構築するとともに、運用ルールを明確にすることで職員の働き方改革を進めるため、「亀岡市プロジェクトチーム設置マニュアル（内規）」を制定した。		
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・キャッシュレス決済や生成AI等、目まぐるしく変化するICTの導入や、重点施策の推進等、庁内連携による効率的な事業推進に寄与することができた。 ・今後は、「亀岡市プロジェクトチーム設置マニュアル（内規）」を活用し、業務の効率化を図りつつ、多様な行政課題の解決に努める。	達成度	3
委員会の評価 (R2～R6)	・	達成度	

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実				
所管課		人事課・市立病院経営企画室	関係課	—			
取組内容		・職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。 ・日々発生する医療の課題に対して、各部署参加の委員会、研修会を実施し、病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力を強化する。					
期待される効果		職員の業務能力の向上、職員の仕事に対するモチベーション向上					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		①人材の育成、職員研修の充実					
		研修計画の策定と運用	実施	実施	実施	実施	実施
		職員研修、他団体への派遣研修	実施	実施	実施	実施	実施
		②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化					
		医療安全管理に係る研修会	実施	実施	実施	実施	実施
		感染対策に係る研修会	実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	選択希望制研修の延べ受講者数	100	105	110	115	120
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	2	2	3	3	3
	実績値	選択希望制研修の延べ受講者数	115	80	188	137	121
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	4	3	3	4	4

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	【①人材の育成、職員研修の充実】 ・年度ごとに職員研修計画を策定し、市主催の職員研修、派遣研修、他団体への派遣研修を実施した。 ・5年間で選択希望制研修の延べ受講者数は641名、他団体への派遣研修は21名となった。		
	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 ・医療安全管理及び感染対策に係る研修会を5年間で合計18回実施した。 ・医療安全管理研修では、地震発生時の初動対応やサイバーセキュリティ研修など、病院全体の危機管理意識の向上につなげた。		
実施結果の自己評価 (R2～R6)	【①人材の育成、職員研修の充実】 ・年度ごとの職員研修計画に基づき、各種研修を実施、また他団体への派遣研修を実施することで、職員の能力向上、モチベーション向上に繋げた。	達成度	3
	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 ・刻々と変化する医療環境に対し、今回の医療安全管理及び感染対策に係る研修を通じて、病院全体の危機管理能力、医療の質的向上に寄与したと考える。 ・今後も継続的に実施することにより、医療事故・医療過誤の防止と発生時の適切な対応に努め、安全な医療環境を維持することで患者の生命・健康を守るとともに医療従事者の信頼性と医療機関の社会的責任を果たしていくことを目指す。	達成度	4
委員会の評価 (R2～R6)	【①人材の育成、職員研修の充実】 ・	達成度	
	【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 ・	達成度	

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用					
所管課		人事課	関係課	—				
取組内容		職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような人事評価制度の運用を図る。 また、毎年度の実施状況等に応じてより良い評価制度となるよう、制度の見直しを行う。						
期待される効果		・ 職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成 ・ 組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる						
計画年度				R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		人事評価	実施	実施	実施	実施	実施	
		(職務目標の設定、スタートアップ面談（目標設定面談）、フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談）						
		人事評価制度の見直し	実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—	

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度から本格実施している人事評価制度を毎年運用する中で、多面評価を試行導入するなど、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような制度となるよう見直しを行った。 						
実施結果の自己評価 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成に主眼を置いた人事評価制度として令和2年度から令和6年度まで安定して運用できていた。 ・ 制度の見直しを図る中で多面評価により制度の充実を図るため令和6年度に試行実施しており、職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるための見直しを図っている。 					達成度	3
委員会の評価 (R2～R6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 					達成度	

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用				
所管課		企画調整課・情報政策課	関係課	全課			
取組内容		効率的で持続可能な行財政運営を推進するため、RPA（※）を始めとする業務の効率化が期待できるICT（情報通信技術）の活用を図る。					
期待される効果		業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		RPAの活用及び活用業務の拡大	実施	実施	実施	実施	実施
		AI-OCR（※）活用及び活用業務の拡大	実施	実施	実施	実施	実施
		AI（※）の活用検討		実施	実施	実施	実施
		ICTツールの調査研究		実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	RPA適用を検討・導入した事務数	3	5	5	5	5
	実績値		5	5	5	5	5

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・ 定型的なパソコン操作を自動化するRPAの運用を促進するため、毎年新たなRPAシナリオの作成を進め、5年間で合計25件の業務でRPAを活用した。 ・ 業務効率を高めるためのICTツールやAIの活用に関する調査を実施し、生成AIやAIチャットボット、AI議事録等の運用を開始した。		
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・ RPAは全ての計画年度において、目標導入事務数を達成することができ、定型業務における作業時間の短縮とヒューマンエラーが削減できた。 ・ 新たなICTツールやAI技術の導入により、業務効率化を推進するとともに市民サービスの質の向上につながった。 ・ 今後も引き続き、ICT技術の活用により業務改善や市民サービスの向上を目指す。	達成度	3
委員会の評価 (R2～R6)	・	達成度	

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。

※AI-OCR…人工知能（学習機能）を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。

※AI…人工知能のこと。

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	9	取組項目	電子決裁の推進				
所管課		総務課	関係課	企画調整課、財政課、会計課			
取組内容		迅速な意思決定と効率的な事務執行のため、電子決裁の浸透と対象範囲の拡大に取り組む。					
期待される効果		事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		運用状況の把握、先行自治体等の調査・研究	実施				
		庁内における推進体制の確保	準備	準備	実施	実施	実施
		環境整備（財務会計システムとの連携、機器の導入、各種規程の見直し）		準備	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	—

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・ 令和3年度から一部運用拡大を実施していた文書管理システムの電子決裁について、ワーキンググループを設置し、財務会計システムとの連携に向けた検討を行った。 ・ 文書管理システムと財務会計システムとの一体的なシステムの構築を実施することで、令和7年度から原則全ての文書及び伝票等の電子決裁を開始する体制を整えた。		
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・ 文書管理システムと財務会計システムとの一体的なシステムの構築を実施することで、令和7年度から原則全ての文書及び伝票等の電子決裁を開始する体制を整えることができた。	達成度	3
委員会の評価 (R2～R6)	・	達成度	

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証				
所管課		財政課	関係課		全課		
取組内容		経常的経費（※）を含む事務事業の実態を把握、検証した上で、事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド（※）などを徹底することで、健全で持続可能な財政運営を行う。					
期待される効果		最少の経費で最大の効果を上げることの徹底					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		財政担当による経常的経費を含む事務事業の見直しや改善・課題点などの検討	実施	実施	実施	実施	実施
		主管課による事務事業の実態把握及び検討	実施	実施	実施	実施	実施
		検討事項の審査	実施	実施	実施	実施	実施
		当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルドなどの実施	実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	経常的経費における事務事業の見直し（検討数）	10	10	10	10	10
	実績値		20	13	10	11	10

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・子どもファースト事業をはじめとする特色ある事業を展開するとともに、持続可能な財政運営を見据えた予算編成を行うため、経常的経費を含めた事務事業の見直しを行い、5年間で延べ64事業について見直しを実施した。		
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・子どもファースト事業のみならず、全国都市緑化フェアの開催招致や育親学園の新設など大型事業の推進を図ることができた。一方で、長引く物価高騰をはじめ社会情勢の不確実性が高い中で、中長期的な財政規律の維持を図るため、経常的経費を含めた事務事業の見直しについては、引き続き着実に取り組んでいく。	達成度	3
委員会の評価 (R2～R6)	・	達成度	

※経常的経費…義務的経費（支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計）のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。
 ※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行				
所管課		財政課	関係課	全課			
取組内容		償還財源に多額の一般財源を充当することから、市政運営の根幹にかかわる事業を除き、市債は、公債費の元金償還額を上回らない発行額とすることで、健全財政を維持する（※）。					
期待される効果		償還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		元金償還額を上回らない市債の発行	実施	実施	実施	実施	実施
		公債費の抑制	実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	年度末の市債残高	421.0億円	418.5億円	416.0億円	413.5億円	411.0億円
	実績値		407.4億円	403.9億円	390.6億円	377.7億円	367.2億円

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・今後5年間の本市の財政見通しである「中期財政見通し」を毎年10月に作成し、優先度の高い重点施策の事業費を見込んだ上で、国府の補助金等を活用した計画的な市債発行に努め、5年間で約40億円の削減となった。					
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・市債の発行額は、普通建設事業費の事業量に連動するが、事業の優先順位付け等により計画的な市債発行に努めたことで、新規発行額を抑制することができた。					達成度 3
委員会の評価 (R2～R6)	・					達成度

※一般財源…使途が特定されない財源のこと（市町村税や普通交付税など）。

※市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となる時に、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。

※公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金（地方債）の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。

※元金償還額…市債の元金返済額のこと。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進				
所管課		財産管理課	関係課	各施設所管課			
取組内容		公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（施設の廃止、統合等）などを検討し、効率的・効果的な施設運営のあり方を検討し、見直す。					
期待される効果		施設の適正化により安定した財政運営を図る。					
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画		施設の廃止、統合等の検討・見直し	実施	実施	実施	実施	実施
		各施設個別計画の策定	実施	実施			
		各個別施設計画の内容精査				実施	実施
目標指標	数値目標	建築施設延床面積削減率（平成２８年対比）	1.48%	1.85%	2.22%	2.59%	2.96%
	実績値		3.42%	2.96%	2.77%	2.96%	2.65%

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	・ 亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議を定期的に開催し、平成28年度に策定した「亀岡市公共施設等総合管理計画」に掲げる建築施設延床面積の削減目標の達成に向けた検討を行う中で施設の削減に努め、令和6年度末時点で2.65%（平成28年度比）の削減となった。					
実施結果の自己評価 (R2～R6)	・ 本市では「亀岡市公共施設等総合管理計画」に基づいた建築物施設の保有量の削減・適正化に努めており、令和2年度から令和5年度においては、目標を上回る削減率を達成している。令和6年度の削減率は、新園舎等の建設により目標値を下回る結果となったが、今後、施設の売却等を含めた検討を進めることで削減目標を達成できるものとする。					達成度 3
委員会の評価 (R2～R6)	・					達成度

※公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（総量縮減）など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート

No.	13	取組項目	受益者負担の適正化					
所管課		企画調整課・教育総務課	関係課	使用料・手数料の所管課				
取組内容		受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較による現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。						
期待される効果		受益と負担の公平性を保つ						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画		①使用料・手数料の検証						
		使用料・手数料の状況把握、近隣市の状況調査		実施	実施	実施		
		調査結果の検証、近隣市との比較等による現状分析			実施	実施	実施	
		使用料・手数料の適正化の検討・見直し			実施	実施	実施	実施
		②学校施設使用料の検証						
		学校施設使用料の状況把握、近隣市の状況調査		実施				
		調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析		実施				
		使用料徴収の適正化を検討・見直し			実施			
目標指標	数値目標	－		－	－	－	－	

総括シート

計画期間の実施結果 (R2～R6)	【①使用料・手数料の検証】 ・各施設の担当課において、他の自治体の状況や物価高騰による経費の増加を考慮する中で適正な料金設定に努め、必要な見直しを行った。 ・キャッシュレス決済の導入やインボイス制度対応など利便性向上に努めた。			
	【②学校施設使用料の検証】 ・近隣市の学校施設使用料及び条例を調査し亀岡市との比較を行い、概ね適当な料金設定であると確認した。 ・キャッシュレス決済の導入や、申請方法の変更により利便性向上に努めた。			
実施結果の自己評価 (R2～R6)	【①使用料・手数料の検証】 ・市民と市外在住者との差別化による受益者負担の適正化を進めることができたが、物価高騰を理由とした値上げについては、公共性を考慮する必要があるため、積極的な見直しには至らなかったため、今後は基準設定も検討する必要がある。		達成度	3
	【②学校施設使用料の検証】 ・適正な料金設定であることが確認できたため、料金改定は行っていないが、今後も適正な料金設定に努めたい。 ・キャッシュレス決済については、令和3年度と令和4年度に利用実績があった。引き続き利便性向上に努めていく。		達成度	3
委員会の評価 (R2～R6)	【①使用料・手数料の検証】 ・		達成度	
	【②学校施設使用料の検証】 ・		達成度	

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024
実施計画 取組総括シート

亀岡市政策企画部企画調整課

〒621-8501 亀岡市安町野々神 8 番地

TEL(0771)25-5006／FAX(0771)24-5501

E-Mail yume-vision@city.kameoka.lg.jp